

2009年度 中央公民館

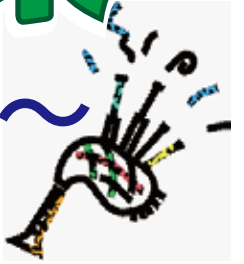
ライブ2000 vol. 60



ヨーロッパの大衆音楽



～ふいごを使った楽器達～



出演：^{ふいご}鞆座

鞆座とは、古式の製鉄に用いられる鞆（ふいご）を使った火おこしの装置のことです。鞆の風が唸り、鉄が弾かれる。かつて時代の最先端であった鞆座はイーリアンパイプス（アイルランドのバグパイプ）やアコーディオンなどの鞆を使った楽器による新しい音楽のスタイルとなって現代に甦りました。



2月13日(土)

午後7時～

8時30分

会場：中央公民館

2階ホール

定員：100人

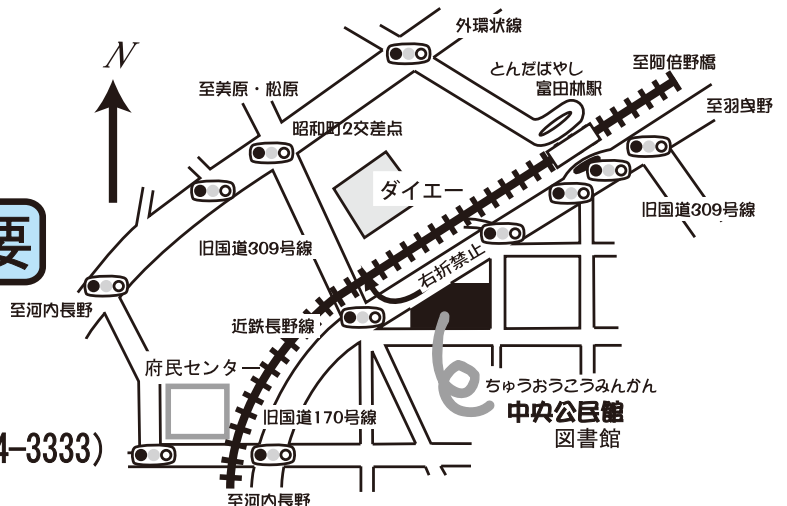
入場無料・申込み不要

・直接会場へお越しください

主催：富田林市立中央公民館（☎0721-24-3333）

金子鉄心（イーリアン・パイプ、ティン・ウィッスル、ロー・ウィッスル、ケーナ、サクソなど）

藤沢祥衣（アコーディオン・コンサティーナ）



鞆座 プロフィール

【鞆座の音楽】

アイルランドのケルト音楽やフランスのミュゼット、東ヨーロッパのユダヤ音楽（クレズマー）やロマ（ジプシー）の音楽など、ヨーロッパ各地の伝統的大衆音楽を、時に叙情的で物悲しく、時に明るく軽快に、時に扇情的で魂が揺さぶられるがごとく、変幻自在に演奏いたします。また、アコーディオン、イーリアン・パイプスなどの、共にリード（発音弁）を使用した楽器は、倍音成分の多い独特の音色を特徴とし、それらによって生み出されたハーモニーは、互いの持つ倍音が共鳴し合い、より重厚で壮麗な音世界を醸し出します。

【鞆座の作品】

2004年結成、同年、ヨーロッパの伝統的大衆音楽をベースにしたオリジナル曲を収録したファーストアルバム『鞆座の夜』をリリース。

2006年、セカンドアルバム『フィゴ座の怪人』リリース。

2008年、サードアルバム『ふいごまつり』リリース。

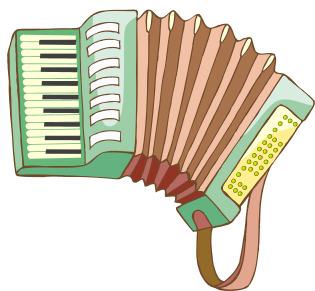
【鞆座の活動】

2004年結成以来、関西を中心に精力的な演奏活動を展開し、堺市東文化会館・大阪市立中央図書館・国際障害者交流センター「Big-i」などの公共施設のほか、大学祭やライブハウスなど毎年約20公演をこなしています。

【メンバープロフィール】

金子鉄心（かねこてっしん）／イーリアン・パイプス、ソプラノ・サクソ、ティン・ホイッスル他

86年、ロックバンド『おかげ様ブラザーズ』のサクソ奏者としてメジャーデビュー。その後ケルト音楽などの影響を受け、98年、ギタリストの押尾コータロー氏等と共にアイリッシュ&ミュゼット・バンド、『オオサカ・エグザイル』を結成。現在、様々な管楽器を用いて、レコーディングや舞台の音楽制作を手掛ける。



藤沢祥衣（ふじさわさちえ）／アコーディオン・コンサティーナ
アイリッシュ・パンクバンドの影響を受け、1996年よりアコーディオンをはじめる。

カンツォーネやミュゼットなどのヨーロッパ大衆音楽の演奏をベースに、あらゆるジャンルのミュージシャンのコンサートやレコーディングのサポートをつとめる。